



CHC52015 Diploma of Community Services

社会福祉ディプロマコース 学生の声

現在、ストッツカレッジの1年生で約半年コースを受講した C.O. さんにコースの感想をお聞きしてみました。

Q: なぜこのコースを受講することに決めましたか？

A: メルボルンに来るまでは、日本で訪問看護師をしていました。元々、地域看護や公衆衛生に興味があり、コミュニティサービスは対象者が、看護のように病気を持っている人に限らず広範囲にわたること、なおかつ各々の生活に、より密着した関わりを持つことができる領域であったので、自身のキャリアアップを図るために、コースを受講を決めました。

Q: これまで履修した科目のうち、どの科目が役に立った、または興味深かったですか？

A: 「Manage and promote diversity」です。この科目では、文化の多様性をどう社会生活に生かすことができるか、その方法を講師や生徒と一緒に話し合いながら学びます。日本ではまだ広く認知されていない性の多様性を、このオーストラリアという多文化社会の場で学ぶことができたことは、自身にとって大きな収穫であったと感じています。また、これまで当たり前だと思っていた日本での生活の中で、生き辛い思いをしている人がいかにたくさんいるかを痛感することができました。オーストラリアで新たな価値観や視点を学ぶだけでなく、今後どのように自国に持ち帰り、このコースでの学びを生かして、より良い社会を作っていくことができるか、今から楽しみでなりません。

Q: 講師陣はどうですか？

A: コースを受講する学生は、様々な国籍で構成されており、英語のレベルも個人で大きく違います。その為、講師は常にシンプルに分かりやすく、それぞれの学生の理解度を考慮しながら講義を進めてくださいます。個人的に質問がある際も、休憩中や授業後に快く対応して下さいます。また、講師は日中はそれぞれの専門領域で仕事をされているので、本来クラスで学ぶことができないような現場の意見を講義の中で聞くことができます。

Q: 社会&地域福祉分野のどのエリアで働きたいと考えていますか？

A: まだコースの途中なので、はっきりとは決めていませんが、コミュニティヘルスセンターでダイバーシティオフィサーに関連した分野で実習を行いたいと考えています。

Q: ストッツカレッジについてどう思いますか？

A: ストッツカレッジは、シティ内でも便利な立地にあり、設備も新しくモダンです。また、スタッフは学生を常に気にかけて、疑問がある際は、親身になって相談にのってくださるので安心です。またコースは、週4日夜間のため、昼間は仕事、夜はコース受講と充実した学生生活を送ることができています。

